

産経新聞 令和2年(2020年)1月13日(月)

## 子供のために防げ心の老化

大学生 東 克哉 20

子供たちは季節の変化に敏感である。街中の植物の葉っぱや、虫などに興味を示し、大切に扱う。

保育園の登園を思いだしてみると、ドングリを拾ったり、だんご虫をすぐにポケットに入れたりしていた。子供の頃はあんなに興味があったものが、大人になると気にも留めなくなるのが不思議だ。

祖母は「若い頃はよく感動したが、今は何を見ても涙すら出ない」と嘆いていた。どうやら老化は、体だ

けでなく、心にもあるように思う。

私も葉っぱや虫には、興味がなくなってきた。少なからず老化が始まっているのかもしれない。

大学では、保育士の道に進むために学んでいる。何事にも反応する子供たちに対応できるよう、自然の変化にも目を向けた。

今度是一次、スマートフォンの色づきを見ながら、大学へ行く。

(奈良県桜井市)